

小学生プログラミングコンテスト 岩手県大会



審査員と笑顔で記念撮影をする出場者

ひらめき 僕らの未来図

県内のプログラミング教育浸透を図る小学生プログラミングコンテスト岩手県大会の最終審査は18日、盛岡市上田の岩手大で行われました。3回目となる今回は県内から10の個人とチームが参加し「みんなのみらい」をテーマに身近な困り事や社会問題を解決するための作品を発表。豊かな発想力や学びの成果を競いました。

6人4チームが競う

盛岡、北上、陸前高田の3市と矢巾町から6人4チームが参加。発表時間は各4分、審査員長の宮川洋一・同大教育学部教授、キオクシア岩手の柴山耕一郎社長ら11人が発想力と表現力、技術力を総合的に審査し、北上市いわさき小6年の小田島雄凜君が1位に選ばれました。小田島君は、来年3月5日に東京都で開催される全国選抜小学生プログラミング大会に出場します。

構想、技術力レベルアップ

「みんなのみらい」でした。審査員の間では「昨年度より向上している」「プログラムがプロレベルのコードを書いている児童もいる」と高く評価されました。小田島君は「構想が素晴らしい」というコメントが多数あり、審査員からは「構想と自分のプログラミングの力を合わせる」と、作品に込めた意図や目的、一貫性があるかという点が評価されました。小田島君は「構想が素晴らしい」というコメントが多数あり、審査員からは「構想と自分のプログラミングの力を合わせる」と、作品に込めた意図や目的、一貫性があるかという点が評価されました。



岩手大教育学部教授 宮川 洋一

「みんなのみらい」でした。審査員の間では「昨年度より向上している」「プログラムがプロレベルのコードを書いている児童もいる」と高く評価されました。小田島君は「構想が素晴らしい」というコメントが多数あり、審査員からは「構想と自分のプログラミングの力を合わせる」と、作品に込めた意図や目的、一貫性があるかという点が評価されました。小田島君は「構想が素晴らしい」というコメントが多数あり、審査員からは「構想と自分のプログラミングの力を合わせる」と、作品に込めた意図や目的、一貫性があるかという点が評価されました。

最終審査結果

- ▽1位 小田島雄凜(北上市いわさき6年)「輝いていた地球は今」
- ▽2位 翔陽(吉田朝陽(矢巾町)6年)「未来への向かって」
- ▽3位 坂本大和(盛岡市緑が丘6年)「Clean Earth」
- ▽キオクシア岩手賞 地球を守るSDGsチーム(佐藤友貴、岸貴志、天沼善太郎(岩手大付属3年)「地球を守るSDGs」)
- ▽NTT東日本賞 佐々木友雅(盛岡市城南3年)「HOTSUMMER」
- ▽NTTドコモ賞 そよかぜ(熊谷朔太郎、大和田悠斗、陸前高田・米崎5年)「みらいの路線図」
- ▽codeMo賞 スケッチャー(浅香昂、藤原西太朗、内宮彬(盛岡市桜城5年)「家」)

1位の小田島君(北上市いわさき6年)



環境問題を題材にしたゲームを制作し、初の1位に輝いた小田島雄凜君



小田島雄凜君が作成した「輝いていた地球は今」の一場面

3度目の出場、初の1位に輝いた小田島君は「3年間頑張ってきたのがあった(小学校生活の)最後に1位を取れてうれしい」と喜びをかみしめていました。作品タイトルは「輝いていた地球は今」。猛暑や大雪など地球温暖化の影響を身近に感じ、環境問題を題材にした2択形式のゲームを制作しました。プレイヤーは森林や砂漠にワザを投入し、「自分の伝言」をたたくていきました。

3度目の挑戦、努力実る

参加者ひとこと

盛岡・岩手大付属小3年



佐藤 友貴君 幼なじみと3人で出場しました。インターネットで「明るい未来つくるには」と検索したらSDGsがヒットしたので、SDGsを物語形式で伝える作品にしよう決めました。2回作り直し納得がいく内容に仕上がりました。世界のみんなが僕たちと同じように関心を持ってSDGsに取り組み、世界に明るい未来が訪れてほしいです。

盛岡・緑が丘小6年



坂本 大和君 姉の影響でプログラミングに興味を持ち、5年生から塾に通っています。友達や家族に困り事を聞いて、食品ロスなど無駄をなくするためのアプリを考えました。物の種類や位置、写真が登録・一覧でき、管理しやすいように工夫しました。今後、一人一人がログインできるようにして、もっと使いやすくしていきたいです。

陸前高田・米崎小5年



熊谷朔太郎君 陸前高田市が内閣府の「SDGs未来都市」に選ばれているので、僕たちができることは何だろうと考えました。自分が好きな鉄道を使って、子どもや高齢者、障害者にとって優しいまちづくりができないかと想像を膨らませました。プログラミングは作品を完成させたり、不具合の原因を見つけて解決するところが楽しいです。

プログラミング体験教室



一関



北上



滝沢



盛岡



釜石



久慈

- ◇主催 岩手日報社、岩手大学
- ◇特別協賛 キオクシア岩手
- ◇協力 NTT東日本岩手支店、NTTドコモ東北支社、codeMo
- ◇後援 経済産業省、デジタル庁、岩手県、岩手県教育委員会、IBC岩手放送、全国新聞社事業協議会